

## 質問回答書

次の案件に関する質問に回答します。

令和5年4月6日

工事名：R5馬林 復旧治山（R4補正） 美馬市藤原 溪間工事（担い手確保型）

路線名：藤原地区

工事箇所：美馬市穴吹町藤原

番号	質問事項	回答
①	T単8号のケーブルクレーンについて治山林道必携 P262～263 の設計荷重及び索の決定早見表を参照していると思いますが、この歩掛の条件の場合バケット区分と勾配区分はどの早見表を参照しているのでしょうか。また、支間長が230mの場合で主索、巻上索とエンドレス索の索長を教えてください。	本工事のコンクリート打設はポンプ車打設のため、早見表を使用していません。バケット区分については資材の0.3m <sup>3</sup> を使用しています。勾配については、元柱と先柱の設置位置により15度未満としています。 支間長が230mの場合、主索は270.9m、巻上索は290.9m、エンドレス索は511.8mです。
②	S単3号の建設廃材、根株の処分費はいくらでしょうか。	単価は1トンあたり25,000円で計上しています。
③	T単4号の円形型枠（紙製）はどの基準書の歩掛を参照していますか。	令和4年版治山林道必積算・施工編【上巻】の施工パッケージ2章⑭-3-3 暗渠排水管（P1463～1464）を参照しています。（添付資料参照）
④	S単4号の鉛直打継目型枠ではSP型枠となっていますが、これは土地改良マニュアルの施工パッケージを使用するのでしょうか。	令和4年版治山林道必積算・施工編【上巻】の施工パッケージ3章②型枠工（P1567～1569）を参照しています。

